

氏名	富田文子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	障害者福祉 職業リハビリテーション 就労支援サービス 社会福祉行財政				
学位	修士（健康福祉科学）				
学歴	2009年3月 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科 卒業 2012年3月 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士前期課程 修了 2018年4月～ 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士後期課程 在籍				
経歴	2009年4月～2016年3月 大田区役所（福祉職） 2016年4月～2019年3月 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 2019年4月～現在 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会 日本職業リハビリテーション学会 日本リハビリテーション連携科学学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	障害者雇用・就労支援のキーワード 職業リハビリテーション用語集	単著	あり	やどかり出版,169ページ	職リハ用語集編集委員会（分担： 42-43「障害者総合支援法」）	2020.9
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	Trend of Employment Style and Wage System for Persons with Disabilities in Japan	共著	あり		Pacific Rim International Conference on Disability & Diversity Proceedings, 17,1- 5.	Fumiko Tomita; Jun Yaeda
2	青年期・成人期重度知的障害者の 自己決定支援の在り方に関する研究 —支援者が提供する自己決定支援と利用 者に対する影響—	共著	なし		立教大学コミュニ ティ福祉学会『まな びあい』第13号,95- 108.	大橋理美；富田文子
3	就労する知的障害者との会話による交流 が社会福祉学系大学生に与える意識の変 容—余暇支援事業への参加を通じて—	共著	なし		立教大学コミュニ ティ福祉学部紀要第 23号,19-34.	富田文子；杉山明伸
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	国際学会発表への参加から学んだ 研究環 境と多彩な研究の必要性	単独		2020年度日本リハビリテ ーション連携科学学会・定例 研究会（第1回）	○富田文子	2020.10
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	社会福祉士国家試験過去問題解説集2021- 第30回-第32回完全解説+第28回-第29回 問題&解答	共著		中央法規出版	（編集）一般社団法人日本ソーシャ ルワーク教育学校連盟（分担：186- 187,340-341,492-493）	2020.5
2	2020年度社会福祉士・精神保健福祉士全 国統一模試	共著		一般社団法人日本ソーシャ ルワーク教育学校連盟	（編集）一般社団法人日本ソーシャ ルワーク教育学校連盟（分担：就労支援 サービス全4問）	2020.10
3	私のIPW体験：大学で学び、現場で迷 い、教員として改めて考える多職連携の 必要性	単著		保健医療福祉連携,第13巻2 号,164-166.	○富田文子	2020.10
4	初期キャリア研究者のリレーエッセイ （第1回）	単著		日本社会福祉学会ホーム ページ	○富田文子	2020.1.3
2. 競争的資金等の研究						

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省: 科学研究費基金 (研究活動スタート支援)	障害者の一般就労における雇用形態及び賃金体系の構造把握のためのケーススタディ	研究代表者	2019.10~2021.3
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	就労支援論	○	15	労働雇用法や障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また就労移行支援に従事するゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに、就労支援の多職種連携や支援者の役割を示した。そして、企業における就労支援の実際を学ぶことで、知識のさらなる理解に努めた。
2	就労支援サービス (立教大学)	○	15	労働雇用法や障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また各分野の講義後、複数の実践者 (社会福祉士等) のゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに、就労支援の多職種連携や支援者の役割を示した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	社会福祉演習		15	1年次導入科目として、ビブリオバトルやパワーポイントの作成方法、論文の書き方等の基礎的能力について教授した。また、新聞検索によって地域に存在する課題を見つけられるようにファシリテートし、併せて自分の関心を他者を共有する・議論することが促進されるように指導した。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (2019年度実習事後指導)		15	実習の事後指導としてオンラインでの授業展開を行った。それぞれの実習経験をもとに印象的だった事例の検討や、課題図書を出して客観的にSWとしての行為の振り返りを促した。それらが、効果的になるよう授業準備や資料作成を行った。
3	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	コミュニケーションの基礎となるグループワークに関する演習科目の担当者として関わった。ロールプレイや自己理解・他者理解対して、適宜助言・指導を行った。また、遠隔実習になり、他者とのコミュニケーションの難しさがある点に関しては、教員として積極的に関わり「また話したい」と思える環境づくりに努めた。
4	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ (2020年度実習事前指導)		15	実習に必要な①サービスや障害・疾病、利用者に関する知識の獲得、②実習生としての記録の書き方等に関する授業準備や資料作成を行った。また、関わりを持つのではない「居る」ことの技能の習得や、実習課題の作成にはグループワークを活用して、多様な考えを知る機会を設けることで事前の準備とした。
5	社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ	○	15	障害者に関する就労支援や特別支援教育などの社会問題をテーマにした専門書の輪読を中心に展開した。また、学生個別の関心に合わせた論文の輪読の上、議論を行った。併せて、社会調査の方法および卒業論文の執筆に向けた準備についても行った。
6	社会福祉専門演習Ⅲ・Ⅳ	○	15	履修者の関心から論文を選択し、その内容について討議を行った。また、卒業論文作成において、アンケート調査研究の実施と考察について指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習: 期間 学内実習: コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2021.2~3	オンラインによる実習を実施において、11名の学生を担当した。障害者施設及び高齢者介護施設の実習指導者等との協議・事前準備において、施設の現状や課題・多職種連携において、学生の理解が促進されるように課題シートの開発を行った。併せて、学生には、実習における課題解決の促進に向けた助言とグループ面談、学生が抱える葛藤に対する支持的スーパービジョンを実践することで、個人のみならずグループとしても成熟するよう指導や調整した。

2	IPW実習		2020.10	6名の学生の指導を行った。学生のグループ形成については、オリエンテーション時から積極的に介入することで、活発な議論のできるグループに成長できた。またオンライン実習では、新型コロナ罹患者とその家族（障害者）の継続した生活支援が行えるために、支援機関・専門職の連携をどのように行うのか、それ以前に本人のニーズとの調整の難しさを実感した上で、理想とする生活設計を構築することにファシリテートした。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2020年4月から2021年2月	主指導 1名 副指導 名
2	修士論文			主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文			主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公務員試験（就職支援）に対する学習支援及び面接対応		2020年4月から2020年10月	公務員試験受験者に対して、学習のアドバイスを行った。具体的には、2次試験（面接）のためエントリーシートの書き方指導・添削指導等及び面接練習を行った。
2	国家試験における学習相談		2020年4月から2021年2月	国家試験受験者に対して、学習のアドバイスを行った。併せて、「就労支援サービス」についての講義を行った。
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	令和二年度埼玉県特別支援教育研修会		埼玉県教育局	障害福祉サービスの基礎知識と連携の可能性ー就労支援に着目してー 2020.11
2	日本福祉大学 多職種連携教育FD		日本福祉大学	多職種連携を実践するために～埼玉県立大学を中心とした取り組み～ 2021.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	さいたま障害者就業サポート研究会		事務局員	2016.4-現在
2	大田区役所 障がい者総合サポートセンター		就労支援協力員	2016.4-現在
3	大田区役所 障がい者総合サポートセンター		就労移行支援事業所連絡会会員	2016.5-現在
4	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟		2020年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格支援委員	2017年度-2020年度
5	障害年金法研究会		障害年金裁判事例検討部会 拡大運営委員	2018.8-現在
6	埼玉県 教育局 県立学校部特別支援教育課		令和元年度特別支援教育巡回支援員	2019.5-2021.3
7	新たな障害者施設等整備検討委員会（社会福祉法人フロンティア）		副委員長	2019.9-2020.8
8	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会		第11回学術集会実行委員	2020.4-2020.10
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	MCSハートフルA株式会社	就労継続支援A型事業所第三者委員	2017.5-現在
2	産業支援	株式会社LITALICO	LITALICOワークス エリアトレーナー養成 外部講師	2018.4-現在
3	地域貢献活動	大田区役所	自立支援協議会 地域生活部会 就労定着支援実態調査ワーキンググループメンバー	2019.10-2021.3
4	地域貢献活動	大田区役所	共同研究契約締結	2020.1-現在
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等		埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第11回学術集会実行委員	2020.4-2020.10
2	全学的委員会及びセンター業務等		埼玉県立大学保健医療福祉科学学会誌編集委員	2020.4-2021.3
3	学科等における委員会等		大学親睦会担当	2020.4-2021.3
4	学科等における委員会等		社会福祉士・精神保健福祉士国家試験試験対策担当	2020.4-2021.3

5	学科等における委員会等	3年次学年担当（社会福祉学専攻）	2020.4-2021.3
6	学科等における委員会等	社会福祉学専攻スタッフルームの運営	2020.4-2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			